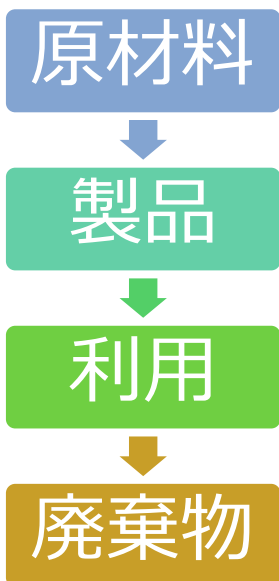


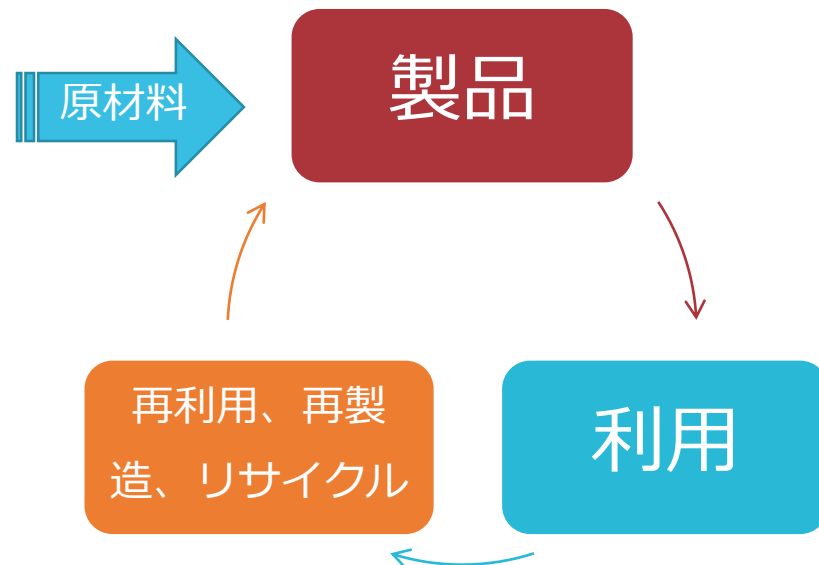
リニアエコノミーからサーキュラーエコノミーへ

- サーキュラーエコノミー（循環経済）では、資源が循環し、エネルギー消費を抑制
- 資源・エネルギー・食料需要・廃棄物量の増加、気候変動等の深刻化が世界的課題。従来の大量生産・大量消費・大量廃棄型のリニアエコノミーからサーキュラーエコノミーへの移行が必要。
- 事業活動の持続可能性を高め、中長期的な競争力の源泉
- 2030年までに約500兆円の市場規模との試算

リニアエコノミー



サーキュラーエコノミー



2030年までの市場規模（世界全体）：約500兆円